

教育長（喜田紘雄君）

小川議員の御質問にお答えをします。

学校教育での選挙参加の重要性については、議員御指摘のとおり、学校教育においても選挙に対する参加意識の必要性を教えることは大切であると考えております。

中学3年生の社会科では、「現代の民主政治と社会」の单元の中で、選挙の基本原則や選挙制度など選挙の仕組みについて学び、自分たちの願いの実現のためには選挙に参加する意識を持つことが重要であることを学習しております。その際、選挙の棄権がふえ、投票率が低下しているという大きな課題についても学んでおります。

市内の中学校では、学習の一環として選挙管理委員会の出前講座を実施し、模擬選挙を体験したり、講話を聞いたりするなど学習方法を工夫しながら、選挙に参加することの重要性や1票の重みについての指導にも力を入れております。取り組み後のアンケートでは9割近くの生徒が、「選挙に興味を持った」「大人になったら選挙に行きたい」と回答し、生徒の選挙への意識の高まりが見られました。

また、学校では、児童会・生徒会の役員を決める際に選挙を実施し、選挙を身近なものとして捉える経験を積むようにしております。そのほか選挙啓発のポスターや標語の募集にも積極的に参加し、選挙への理解を深めている学校も多くあります。

今後も学校教育においてさまざまな学習活動を通して、選挙は国民が自分の考えを示す、なくてはならない機会であること、選挙権が国民にとって大切な権利であることを伝えていきたいと考えております。